

織物の産地として発展してきた桐生市には、ものづくりの伝統が息づいている。

繊維産業のみならず機械金属工業を中心とした製造業でも、類いなき技術を有し、優れた製品やユニークな独自商品を開発、生産している事業所が数多く存在する。

そこからつくり出されたものに注目し、「ものづくりのまち相生」の魅力を再発見したい。

## 木製みやげ品・玩具

### 星野木工所



### ユニークな木製品を確かな技術でつくる

星野木工所（星野高生代表）は、全国各地の観光みやげ品等としてよく見かける木製品、木製玩具を企画、製造している会社である。

昭和32年に東地区で創業、当時は織機関連の部品や道具を製造していた。その後、輸出向けの木製品やゲートボールのスティックも作っていた。土地区画整理事業に伴い、昭和の終わりに現在の相生町に移転してからは、観光地向けの製品や玩具を数多く手掛けるようになった。

調理道具のペッパーミルや一本の原木から削り貫いて作る徳利セットは、繊細な手仕事で成せるものである。日本の民芸玩具である「でんでん太鼓」が付いた耳かき、フクロウを模った印鑑入れ等ユニークな商品も多い。両国国技館で販売されている軍配は外国人観光客に人気だという。

なかでも同社の看板商品と言えるのが、可愛いキツツキの呼び鈴「丸キツツキ」と楊枝入れ「ようじ鳥」。紐を引くとキツツキの口ばしが木を叩き、心地よい音を響かせる丸キツツキは、昭和63年に日本商工会議所と全国観光土産品連盟が主催する第28回全国推奨観光土産品審査会に出品し、見事最優秀賞に輝いている。

使用している材木は全て群馬県産の木材。割れにくい木、水気に強い木など、それぞれの特性を生かして製品を完成させていく。木のことを知り尽くした星野さんならではのものづくりである。

企業名 星野木工所

所在地 〒376-0011 桐生市相生町4-247-40

電話 0277-52-9969